第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元~5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	П	安全・安心な暮らしの実現
基本的施策	5	生涯を通じた男女の健康支援

事業シート(事業番号)

項目	32		ı	性別、年齢	冷に応じた	各種検討	多等の推進	<u> </u>									
内容	性:	別、年齢に	に応じた名	各種がん枝	検診等を実	淫施し、 傾	建康支援を	行う。		目標達用の	或のため 取組	し、受診	勧奨を積	ナたり、国原極的に行い			担当課
事業	43		がん検診事業														健康づくり課
■実績(値)・年月	変ごとの評価										_						
評価モデル	2				年	度単位記	平価										
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和:	元年度(2019)	令和	2年度(2	2020)	令和	3年度(2	2021)	令和	4年度(2	2022)	令和	5年度(2	2023)	令和5年度 (2023) ※目標(値)
指標		子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	
計画 (年度ごとの目標 等)	各がん検診受 診率 胃がん13.0%	40	45	30	40	45	30	40	45	30	40	45	30	40	45	30	
実績(値)	(男14.7%、女 12.0%)、大腸 がん30.8%(男 29.5%、女 31.7%)、肺が	32.1	38.5	27.3	32.4	38	26.3										子宮頸がん樹 診受診率40%
達成率	ん30.6%(男 29.2%、女 31.6%)、乳が ん38.0%(女の	80.3	85.6	91.0	81.0	84.4	87.7										乳がん検診引 診率45% 前 腺がん検診引 診率30%
評価	み)、 子宮頸がん 32.4%(女の	А	A	А	Α	A	А										多年30%
AT IIII	み)、前立腺が ん27.3%(男の み)	85.6		A	84.4		A										
								l						年の総合 評価の平			

実績から見た評価理由

10月下旬に乳がん・子宮頸がん無料クーポン対象者で未受診者に受診勧奨はがきを送った。幼児検診の際、子宮頸がん啓発チラシを配布。総合がん検診の日程に合わせて託児の日を6日 間設けた。

事業シート(事業番号)

事業シート(事業者 項目	33			里女	の健康相	談体制の)										
内容		舌習慣なる	ビ健康に	関する各種				行う。				各年齢原	暑に応じた	相談を実	施する。		担当課
事業	44			男女	の健康相	談体制の)充実			の耳	又相	食 生活和	目談、健康	:相談の美	手他		健康づくり誤
■実績(値)·年月	変ごとの評価																
評価モデル	2				年	度単位評	価										
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和	元年度(2	2019)	令和	2年度(2	020)	令和	13年度(2	021)	令和	4年度(2	022)	令和	5年度(2	023)	令和5年度 (2023) ※目標(値
指標		健康の日 健康相談	依頼の 健康相談	食生活相談	健康の日 健康相談	依頼の 健康相談	食生活相談	健康相談	依頼の 健康相談	食生活相談	健康相談	佐頼の 健康相談	食生活相談	健康相談	依頼の 健康相談	食生活相談	
計画 年度ごとの目標 等)	健康の日健康	150	1000	74	150	1000	74	150	1000	74	150	1000	74	150	1000	74	
実績(値)	相談15回294 人 依頼の健康相 談27回1810人	153	945	164	70	95	76										健康相談(優 の日健康相 依頼の健康
達成率	食生活相談 24回74人	102.0	94.5	221.6	46.7	9.5	102.7										談の合計)1 人 食生活相談
評価		Α	Α	Α	В	С	Α										人
計画		139.4		A	53.0		В										
		l	1						1			1		年の総合 評価の平			

実績から見た評価理由

健康づくり及び健康増進に直結する食生活の市民の関心は強く、食生活相談窓口や事業の幅広い周知によって相談者が多くあった。 令和2年度は、新型コロナの影響にて依頼のあった健康相談及び、健康の日健康相談の件数が減少している。 事業シート(事業番号)

チネノード(デネ)	<u> </u>																
項目	34			出産に	関わる講	座や相談	の実施										Im at any
内容		妊娠・と	出産に関す	する講座等	等を実施し	、健康支	援を行う	0		目標達の	成のため 取組	フレッシュ実施、周	ュ!パパ	ママ教室、	離乳食諱	構習会の	担当課
事業	45		妊産婦	や乳幼り	見を持つ新	見を対象と	した講座	の開催				大心、向	VH (4.1111	I MC.ZE.o			健康づくり誤
■実績(値)・年』	変ごとの評価									•	_	•					
評価モデル	2				年	度単位評	平価										
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和	元年度(2	2019)	令和]2年度(2	020)	令和	D3年度(2	021)	令和	14年度(2	022)	令和]5年度(2	023)	令和5年度 (2023) ※目標(値)
指標		フレッシュ パパママ教 宣参加率	龍乳食騰習 会参加人敷		フレッシュ パパママ教 室参加率	離乳食講習 会参加人数		フレッシュ パパママ教 室参加率	離乳食講習 会参加人数		フレッシュ パパママ教 室参加率	離乳食騰習 会参加人数		フレッシュ パパママ教 室参加率	離乳食講習 会参加人数		
計画 年度ごとの目標 等)		40	240		40	240		40	240		40	240		40	240		
実績(値)	フレッシュパパ ママ教室参加 率(妊婦)	50.7	250		39.5	158											フレッシュパ ママ教室参加 40%
達成率	39.9% 離乳食講習会 参加人数240	126.8	104.2		98.8	65.8											離乳食講習 参加者数
評価	人	A	Α		Α	B+											240人
MI THE		115.5	,	A	82.3		A										
	1	1	1		1	1					1	ı	5か ※	年の総合 評価の平	評価		

実績から見た評価理由

離乳食講習会は、概ね4か月児を対象に実施している。母親を中心に保護者の離乳食への関心は強く、支援に役立っている。なお、4月~6月まで事業を中止した。 フレッシュパパママ教室は、初産婦とその夫を対象とした教室である。参加者申し込みが少ないときは再度周知している。目標を上回ることができた。

項目	34			出産に関	関わる講	座や相談	の実施				-	7*~W	11 to 14 to 1	4	51 / 1 D 1 D 1	-v = vv	担当課
内容		妊娠・と	出産に関す	する講座等	を実施し	、健康支	援を行う	•			或のため 取組	子育で世 等、相談				淡爭業	
事業	46		妊産婦	帚や乳幼児	を持つ親	を対象と	した相談	の実施									健康づくり課
■実績(値)・年月	変ごとの評価	!									7						
評価モデル	1				積	み上げ評	価										
	平成30年度 (2018) ※現状(値)		令和元年度(2019) 令和2年度(2020) 令和3年度(2021) 令和4年度(2022) 令和5年度(2023)												023)	令和5年度 (2023) ※目標(値)	
指標		子育で世代 包括支援セ ンターの相談 件数	予約制乳幼 児相談·運 動発達相談 件数		子育で世代包 括支援セン ター相談件数	予約制乳幼 児相談・運 助発達相談 件数		子育で世代 包括支援セ ンターの相談 件数	予約制乳幼 児相談・運 助発達相談 件數		子育て世代包 括支援セン ター相談件数	予約制乳幼 児相談・運 助発達相談 件數		子育で世代包 括支援セン ター相談件敷	予約制乳幼 児相談・運 動発達相談 件數		
計画 年度ごとの目標 等)	乳幼児相談件	500	480		950	480		1000	360		1050	360		1050	360		乳幼児相談件
実績(値)	数 473件	905	312		1554	237											数 480件 子育て世代包
達成率	子育て世代包 括支援セン ターの相談件	181.0	65.0		163.6	49.4											支援センター(相談件数
評価	数 360件	Α	B+		Α	В											1050件
et.im		123.0		A	106.5	,	4										
													5か ⁴ ※最終年	年の総合 F度数値の 成率	評価 の目標達		

実績から見た評価理由

島田市版ネウボラを開始ししたことで子育て世代包括支援センターの相談件数は伸びていると考えられる。実績数が大幅に増えたのは、集計方法が変更となったため。 乳幼児相談の実績値が減少したが、H31年度から予約制となり実施方法が変更されたためである。 予約制乳幼児相談は、栄養・助産師・運動発達の相談予約が定員超過することも多かった。保健師の相談予約は担当保健師による個別相談の増加に伴い、予約制乳幼児相談の件数が減少 した。

事業シート(事業番号)

項目	35			不	妊治療に	関する支	:援										I m ata mm
内容			不妊治療	の相談、	助成事業	を実施する	る。			目標達用	成のため	+- +n ·- ·		>>1= 1-111	田石土で		担当課
事業	47				不妊治療	相談事業	ŧ			O I		ム戦やオ	ニームペー	・シにより	周知する		健康づくり課
■実績(値)・年』	度ごとの評価	ļ.															
評価モデル	2				年	度単位評	価										
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和	元年度(2	2019)	令和	12年度(2	020)	令和	3年度(2	021)	令和	14年度(20	022)	令和	5年度(2	023)	令和5年度 (2023) ※目標(値
指標		不妊治療相 談數(件)	一般不妊治 療養助成數 (件)	特定不妊治 療費助成數 (件)	不妊治療相 談數(件)	一般不妊治 療養助成數 (件)	特定不妊治 療養助成數 (件)	不妊治療相 後數(件)	一般不妊治 療費助成數 (件)	特定不妊治 療費助成數 (件)	不妊治療相 後數(件)	一般不妊治 療費助成數 (件)	特定不妊治 療費助成數 (件)	不妊治療相 談數(件)	一般不妊治 療費助成數 (件)	特定不妊治 療費助成數 (件)	
計画 年度ごとの目標 等)		50	25	130	50	25	130	50	25	130	50	25	130	50	25	130	
実績(値)	不妊治療相談 数 58件 一般不妊治療 費助成数 40	38	35	113	21	24	138										不妊治療相 数 50件 一般不妊治
達成率	件 特定不妊治療 費助成数 135	76.0	140.0	86.9	42.0	96.0	106.2										費助成数 25 特定不妊治費助成数 1
	件	B+	A	A	В	A	A										件
評価		101.0		Α.	81.4		A									I	
	•		•		•									年の総合 評価の平			

実績から見た評価理由

一般不妊治療助成件数は目標値を上回ることができたが、不妊治療相談数及び特定不妊治療費助成数は目標値を下回った。 申請者は制度を理解し、書類を提出している。期限等の理由で申請できないケースもなかった。

項目	36			5	男女の心の)健康支持	爰										
内容	心の健康問題に	こ対するヨ			啓発活動を 制の充実/			性・女性を	それぞれ	目標達	成のため 取組	るとともり	対し、ゲー こ、相談窓 知を図る。	☑一覧0	一の役割を	普及す ントを作	担当課
事業	48			地域	自殺対策	緊急強化	事業						,				健康づくり記
■実績(値)・年	度ごとの評価										1						
評価モデル	1				積	み上げ評	価										
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和	令和元年度(2019) 令和2年度(2020) 令和3年度(2021) 令和4年度(2022) 令和5年度(2023)											令和5年月 (2023) ※目標(値			
指標		養成者數			養成者數			養成者數			養成者數			養成者數	現状値 (2018)~ 目標年 (2023)仲び 率		
計画 E度ごとの目標 等)	バー養成者数	885			913			942			971			1000	143		ゲートキーノ養成者数(
実績(値)	- (人) ※平成23年度 からの累計	877			916										-857		※平成23年 からの累
達成率		99.1			100.3										-599.3		
€ 07 / 2 4	857	Α			Α										#N/A		1000
評価		99.1		A	100.3		A			•			•				
			I										5か: ※最終 ⁴	年の総合 F度数値(成率	評価 の目標達		

実績から見た評価理由

令和二年度の目標は養成者数913人(H23から累計)に対し、実績:916人(H23から累計)と目標値を達成した。

事業シート(事業番号)

項目	37			7	スポーツ活	5動の促進	<u>ŧ</u>					=#土が町	니約고사	オハーュ	ースポー゛	い数字を	177 Ale 200
内容	誰でも参加しや	すいスポ	ーツ講座		催し、スポ 進する。	ーツに親	しむことか	「出来る班	環境づくり		成のため 収組	開催するまた、子	。 育て中の	お母さん	も参加でき	きるよう	担当課
事業	49				スポー	ツ教室	に、託児	する。	スポーツ振興課								
■実績(値)・年 評価モデル	度ごとの評価 ②		年度単位評価														
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和	令和元年度(2019) 令和2年度(2020) 令和3年度(2021) 令和4年度(2022)													023)	令和5年度 (2023) ※目標(値)
指標		スポーツ教 室開催教 (回)	スポーツ教 室参加者教 (人)	ママさん教 室開催教 (回)	スポーツ教 室開催教 (回)	スポーツ教 室参加者教 (人)	ママさん教 室開催教 (回)	スポーツ教 室開催教 (回)	スポーツ教室参加者教(人)	ママさん教 室開催教 (回)	スポーツ教室開催教(回)	スポーツ教室参加者教(人)	ママさん教 室開催教 (回)	スポーツ教 室開催教 (回)	スポーツ教室参加者教(人)	ママさん教 室開催教 (回)	
計画 (年度ごとの目標 等)	スポーツ教室 (ママさん教室 含む)開催数 70回	70	1350	10	70	1350	10	70	1350	10	70	1350	10	70	1350	10	スポーツ教室 (ママさん教室 含む)開催数
実績(値)	スポーツ教室	70	1034	10	35	368	0										70回
達成率	(ママさん教室 含む)参加者 数 1,178人	100.0	76.6	100.0	50.0	27.3	0.0										スポーツ教室 (ママさん教室 含む)参加者数
San Per	ママさん教室	Α	B+	Α	В	В-	С										1,350人
評価	開催数 8回	92.2		A	25.8	Е	3-			1							ママさん教室開 催数 10回
		1	ı		1	1		1	ı		I	1		年の総合 評価の平			

実績から見た評価理由

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした教室があったり、感染予防のため参加に踏み切れない方も多かったこともあり、目標人数には満たなかった。 次年度は70回程度の教室開催を予定しているが、一度鈍ってしまった参加者の出足を回復するために、広報力の強化等が必要。

事業シート(事業番号) 教育現場における性に関する教育・学習機会の充実 項目 38 子どもの実態に合った年間指導計画を作成 し、青少年を取り巻く社会の情勢や話題を積 極的に取り入れた授業を行う。 担当課 目標達成のため の取組 内容 「自他の尊重を基本とした性教育」を各学年において実施する。 性に関する授業の実施 事業 50 学校教育課 ■実績(値)・年度ごとの評価 年度単位評価 評価モデル 2 〒成30平及 (2018) ※四株/体) ア和3千度 (2023) ジロ標/族) 令和元年度(2019) 令和2年度(2020) 令和3年度(2021) 令和4年度(2022) 令和5年度(2023) 指標 計画 (年度ごとの目標 等) 100% 100% 100% 100% 100% 実績(値) 100% 100% 市内中学校で 実施率100% 市内中学校で実 施率100% 達成率 100.0 100.0 Α 評価 100.0 100.0 Α 5か年の総合評価 ※評価の平均

実績から見た評価理由

市内全中学校で毎年100%実施している。